

令和8年度 施政方針・総合計画

2月26日の市議会3月定例会において、高橋市長が令和8年度の「施政方針」を表明しました。その概要を要約してご紹介いたします。

「選ばれる加西」へ、希望を未来へつなぐ

令和8年度は、市の10年間にわたる指針「第6次加西市総合計画」が折り返しを迎え、後期基本計画へと移行する重要な節目です。これまでの5年間の成果を検証し、将来都市像として掲げる「大空に夢がふくらむ『未来の田舎』(ミライナカ) がかさい」の実現に向け、さらなる一歩を踏み出します。

本市は今、最優先課題である人口減少に真正面から向き合い、「若者や女性に選ばれるまちづくり」を加速させています。本年4月には泉地区の4小学校が統合し、新たに「泉小学校」が開校します。スクールバスの運行や体育館への空調整備など、子供たちが安心して学業やスポーツに励める環境を整えるとともに、閉校した施設についても地域の新たな拠点として有効活用を進めてまいります。

また、市民一人ひとりが地域の担い手として参画する「協創」のまちづくりを推進し、歴史・伝統

文化を継承する郷土愛あふれる心豊かな地域社会を創造します。

市民の命と財産を守る「安全・安心の基盤づくり」では、情報伝達システム「かさいライフナビ」や「かさい公式LINE」の活用、自走式トイレカーの導入など、ソフト・ハード両面から防災体制を強固にします。地域経済においては、デジタル地域通貨「ねっぴーPay」の普及や脱炭素事業を通じ、「田舎だけでも、最先端」なスマートシティを推進するとともに、物価高騰対策として上下水道基本料金の免除を継続し、市民生活の負担軽減を図ります。

今後は市立加西病院の移転整備や小中学校の再編など、将来を見据えた大型事業が本格化します。市民の皆さまと「協創」し、誰もが希望を持ち、心豊かに暮らし続けられる加西市を共に創り上げてまいります。

令和8年度 予算の概要



▲予算概要はこちら

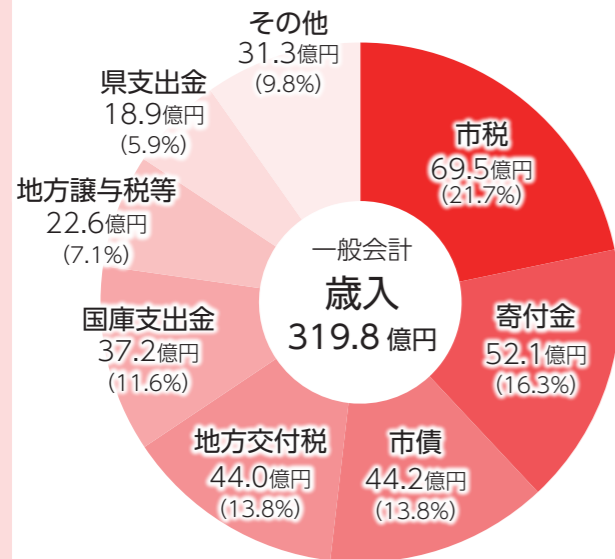
令和8年度の予算は、令和7年度から引き続き小中学校再編や庁舎第二附属棟の建設などの大型事業を実施することにより、一般会計の予算規模は過去最大になっています。

の安全・安心のための施策に取り組みながら、児童・生徒の学力向上や学習支援の強化、子育て支援や、高齢者向け施策、健康予防事業などのくらしを支える医療・福祉施策、さらには物価高騰対策にも力を入れて進めていきます。

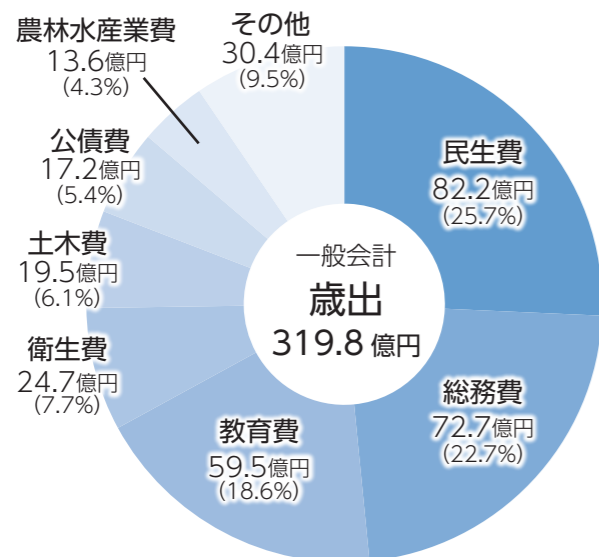
予算総額 563億6,590万円 (前年度比 6.7% 増)

一般会計	319億7,730万円	(前年度比 11.0% 増)
特別会計	125億6,300万円	(同 8.4% 増)
企業会計	118億2,560万円	(同 5.0% 減)

歳入



歳出



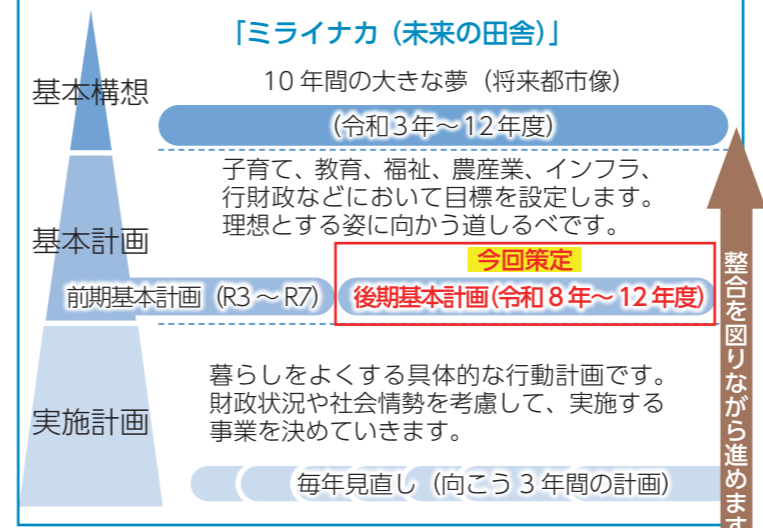
市民一人あたりの 予算の使い道

市の一般会計予算319・8億円が、どのくらいの規模が分かりやすくするため、市民一人あたりの金額に換算してみました。

土木費 道路・公園・住宅管理 4.8万円	民生費 福祉の充実 20.1万円
公債費 借金の返済 4.2万円	総務費 行政の運営 17.8万円
農林水産業費 農業・農地 3.3万円	教育費 学校施設・スポーツ振興 14.6万円
その他 商工・消防・予備費等 7.4万円	衛生費 保健・環境 6.0万円

一人あたり合計すると **78.2万円*** ※人口40,900人で算出(2月末現在)

第6次加西市総合計画



第3期加西市地域創生戦略 (令和8年~12年度)

活気ある地域づくりのための4つの推進指針

若者・女性の活躍 結婚・出産・子育てを地域全体で応援します。	協創のまちづくり 市民・企業・団体が協力して課題を解決します。
多様性社会の構築 年齢や国籍を問わず、互いを尊重し支え合います。	デジタル技術の活用 行政サービスのオンライン化などで生活の質を高めます。

加西の「これから」をアップデート

第6次加西市総合計画(後期基本計画)・第3期加西市地域創生戦略を策定し、令和8年度から12年度までの5年間を期間とする2つの新たなまちづくりの指針を策定しました。令和7年に実施した市民アンケート(2697件)では、買い物や医療への満足度が高い一方で、移動手段や働く場所の充実に期待する声が多く寄せられました。これらの「市民の声」を反映し、誰もが自分らしく生きられるまちを推進していきます。

加西市が目指す将来都市像

大空に夢がふくらむ『ミライナカ(未来の田舎)』がかさい
田舎の良さを活かしつつ、デジタル技術の活用で、都会に負けない最先端の利便性を備えたまちを目指します。



▲総合計画はこちら

